

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2016年9月調査結果-

調査要領

- 調査期間 2016年9月8日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 103社
- 回収率 51.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の9月の状況を見ると業況DIは、前月より7.9ポイント悪化の▲23.3。

2014年4月以来30ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業の4業種において悪化した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲19.5と当月に比べ3.8ポイント回復を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業、卸売業で回復が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2016年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
業況	▲24.2	▲28.0	▲23.0	▲23.1	▲15.4	▲15.4	▲19.5
売上	▲20.2	▲28.3	▲21.8	▲20.0	▲14.5	▲14.5	▲11.6
採算	▲18.2	▲26.2	▲29.1	▲16.2	▲18.3	▲18.3	▲20.3
仕入単価	▲22.3	▲25.2	▲21.1	▲18.3	▲13.5	▲13.5	▲18.5
従業員	21.2	24.2	28.5	31.4	29.8	29.8	33.1
資金繰り	▲ 5.0	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 4.9

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2016年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
建設	▲30.4	▲ 9.1	▲18.2	▲20.8	▲25.0	▲20.8	▲ 8.3
製造	▲11.5	▲16.0	▲ 7.7	▲14.3	▲ 3.9	▲12.0	▲ 4.0
卸売	▲25.0	▲42.1	▲42.3	▲40.0	▲19.0	▲31.9	▲31.8
小売	▲20.0	▲26.7	▲33.3	▲29.4	▲25.0	▲28.6	▲28.6
サービス	▲40.0	▲52.7	▲11.8	▲13.4	▲ 5.9	▲27.7	▲33.3

今月のトピックス（業界の声）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・台風による緊急災害復旧工事に伴う新たな発注が増えると思われる。 ・請負工事高は市内での競争激化から一時的に地方市場の開拓に傾注したこともあって、前年度を若干ながら上回るペースで推移している。 ・春先は受注が少なく、約 1.5 ヶ月程度始まりが遅れ、経費先ぐいの状況で収支が 20～30 年前の状況と同じとなり悪化となった。現在受注は少なく、地方マンション多く売上は前年に迫ってきている。旭川市内前年比 50～60%に下がっている。先行きに不安な年である。留萌・比布・士別のマンション十週でしのげた。 ・従業員不足（仕事量が当初予定を上回っている。人手不足で新規受注ができない。）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・受注、売上、経費等に関してはほぼ計画通り。かつ前年並みで推移している。採用活動が一巡を終えたが募集の母数が減少しており今後の課題となる。 ・全道的に食品惣菜業は人手不足で、仕事の取り合いというよりも仕事をこれ以上取らない方向傾向・概ね前年と同程度で推移している。 ・印刷業界を取巻く環境に大きな変化はなく、従来からの紙媒体のマーケット縮小状況が続いている。流通関係の販売促進のチラシ等の印刷物等については、個人消費の低迷もあり、予算を減少する傾向にある（個社別の違いはあるが）。9 月末の旭川西武閉店に伴い、各社が積極的に広告印刷物を増加するとは思えない。当面この状況が続くと思われる。 ・労働作業環境の改善（道路・照明等）に取り組んでいる。 ・生産性の追及をしている
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・業況は前年度よりも若干良いくらい ・灯油の価格は横ばいで推移している。今後需要期に入るものの大きな変動はないものと推測される・売上・粗利とも前年比 100%で推移している。今後もあまり変化はしないと思います。 ・夏期のため、産地市場の役割が大きく 4 度の台風は生産地道南を中心に影響が出た。施設栽培が多いため、雨の被害は露地の商品にしかなく風の被害が少なくなかった。取引先小売店は道東、道北にも分布しているため、ライフラインが寸断されている地域もある。最も大きいのは相場の問題で本州行きの荷物が弊社に出荷され供給過度で相場展開が非常に難しくなり、今月に入っても尾を引いている。 ・取引先が当社以外の業者へ見積もり依頼要請をして競争激化となる。当社の長所（安心・安全・デザイン対応・納期厳守等）が発揮できず取引先が価格ありきの概念で進むことは残念至極である。政府指導の限りなきインフレ化は仕入先にあるが、末端では消費不足の上、乱売安価傾向でデフレ脱却はまだまだ先将来のことと思う。また買い控え我慢させられているようにも感じる。
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の人材育成。9 月は決算月なので販売等、盛り上がってもらいたい。 ・天候の不順により秋物商品入荷しているが、来店客の購買動向が鈍く大変苦戦（売上）している。 ・売上の減少（販売単価の低迷）、人手不足。・従業員の不足
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・台風上陸による河川の氾濫や土砂崩れが発生し、復旧の対応に追われています。 ・悪天候があり、日によっては売上に影響したが、それ以外の日はまあまあの人出があった。 ・インバウンド、台風関連で宿泊客対前年 4%減も、宴会・売店昨年並みを維持。客単価 UP、宿泊収入増で総収入 1.2%増収。 ・食ベマルシェまでは売上として作動するものの、その後は急激に例年の如く厳しい状況が続くと思われる。全体的に不安定な雨が続き旅行・会食等の気分にならないのでは・当館が占める売上割合がインターネット予約 70%越えという状況下、競合ホテルが増えたことで価格競争に巻き込まれやすい体質となってしまった。当月においては昨年を比ベシルバーウィークの日並びが悪く前年割れ。 ・8 月末から 9 月にかけて台風の影響により、ホテルの予約取消しが相次ぎ、道北、道東のホテルで前年比減。9 月は厳しい売上が予想される。天候の回復を祈り来月に期待したい。 ・修理在庫台数、板金塗装在庫台数の減少、車輛販売の減少。

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI20.8 ポイント回復、採算 DI12.5 ポイント回復、仕入単価 DI4.2 ポイント悪化、資金 DI4.2 ポイント悪化、従業員 DI29.2 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 4.2 ポイント回復となった。業種別では、建築業 29 ポイント悪化、総合工事 19 ポイント、設備その他 18 ポイント回復となった。仕事量が当初予定を上回っており、人手不足により新規受注ができないとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI12.0 ポイント回復、採算 DI12.3 ポイント悪化、仕入単価 DI8.3 ポイント悪化、資金 DI3.9 ポイント悪化、従業員 DI12.9 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 8.1 ポイント悪化となった。業種別では、家具木材 20 ポイント回復、食料品横ばい、印刷出版 35 ポイント、金属窯業他 20 ポイント悪化となった。従来からの紙媒体のマーケット縮小状況が続いている。販売促進のチラシ等の印刷物等は、予算を減少する傾向（個社別違いはあるが）にあるとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI4.3 ポイント悪化、採算 DI3.5 ポイント悪化、仕入単価 DI8.0 ポイント悪化、資金 DI4.3 ポイント悪化、従業員 DI8.0 ポイント増加と不足感が高まった。総じて業況 DI は 12.9 ポイント悪化となった。業種別では、その他 4 ポイント回復、繊維 50 ポイント、食料品 13 ポイント、機械鋼材 25 ポイント悪化となった。競争激化。当社の長所が発揮できず、取引先が価格ありきの概念で進むことは残念至極であるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI9.8 ポイント悪化、採算 DI3.6 ポイント悪化、仕入単価 DI6.2 ポイント悪化、資金 DI4.5 ポイント回復、従業員 DI9.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.6 ポイント悪化となった。業種別では、食料品、その他、自動車横ばい、衣料品 17 ポイント悪化となった。天候不順により秋物商品入荷しているが、来店客の購買動向が鈍く大変苦戦しているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI21.8 ポイント悪化、採算 DI22.5 ポイント悪化、仕入単価 DI10.5 ポイント悪化、資金 DI5.9 ポイント悪化、従業員 DI30.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 21.8 ポイント悪化となった。業種別ではクリーニング、その他、飲食で横ばい、ホテル 20 ポイント、整備業 8 ポイント、運送 100 ポイント悪化となった。食ハマルシェまでは売上として作動するものの、その後は急激に例年の如く厳しい状況が続くと思われるという声も寄せられている。</p>